

輻射式冷暖房「ecowinHYBRID」システム

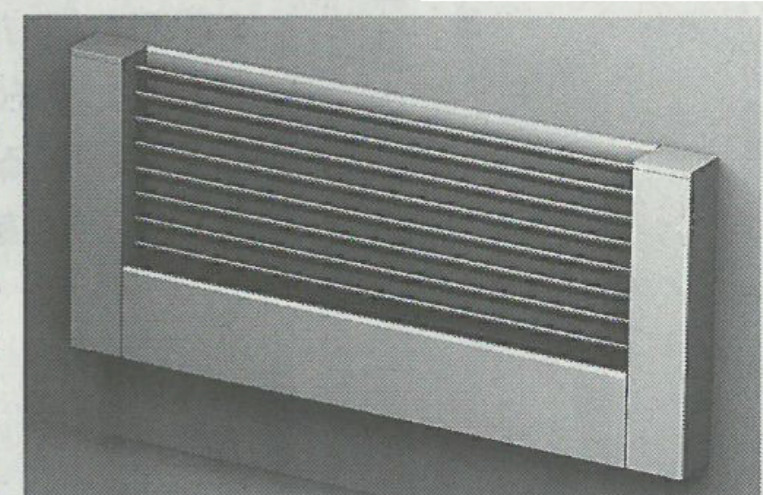
# LOWBOYを新発売 窓下や壁面上部へ設置可能に

## エコファクトリー

エコファクトリー(本社 熊本市中央区水前寺二の二七の七、☎096・381・7033)は、優れた省エネ性と快適性が好評の輻射式冷暖房システム「ecowinHYBRID」のラインナップに、多様な設置バリエーションが可能でLOWBOY(ローボーイ)モデルを追加し、六月十七日から販売を開始した。

「ecowinHYBRID」は、高性能の家庭用ルームエアコンや業務用パッケージエアコンで作られた冷媒を、アルミニウム製の「サーモエレメント」に通し、放射される遠赤外線によって冷暖房を行うハイブリッド方式の輻射式冷暖房システム。

高性能エアコンを熱源に採用し、体感に有効に作用する輻射効果と冷凍サイクルの効率を向上させる効果を合わせた体感が得られるため、エネルギー消費を飛躍的に抑えることができる(エネルギー削減率は高性能エアコンと比較し、最大



「ecowinHYBRID」LOWBOYモデル  
販売実績を続けており、現在、全国で四十の代理店が事業活動を展開している。これまで熊本県、大阪府、中国・営口市を製造拠点とし、東京支社をマーケティングの拠点としてグローバルに事業を展開している。

十三センチのロングタイプの二種類をラインアップ。それぞれにホワイト(白)、ブラック(黒)、シャンパンゴールド(ステンカラー)の三色を用意し、設置場所に合わせた選択ができる。

同社代表取締役社長の村上宣氏は「LOWBOYモデルの開発に当たっては、これまで縦に設置していたフィンを横に置いて

結露が起きないように工夫しながら、従来品の能力を保つことに留意した。

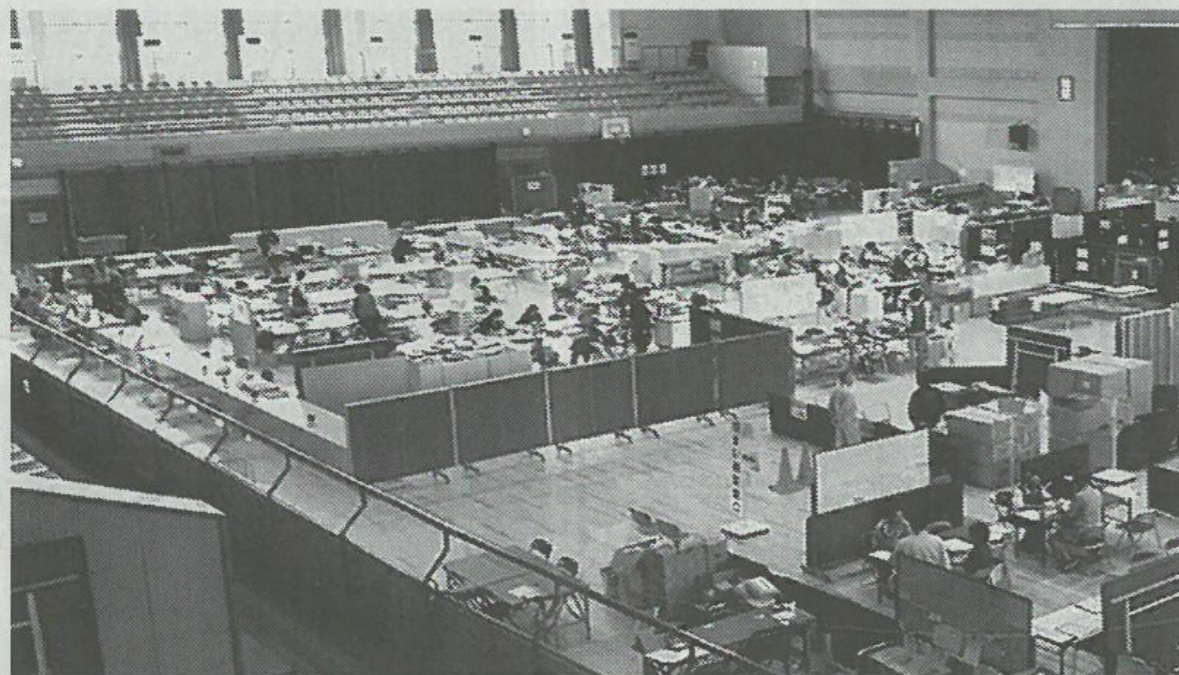
「ecowinHYBRID」は、発売以来、好評なご提案を進めていきたいと考えている」と語る。

「ecowinHYBRID」は、六月三日、YBRID」は、六月三日、沖縄県産品としての認定を受けている。

村上市長は「当社が『ecowin』を納入した宇土市民体育館は、四月の熊本地震で大きな被害を受けた宇土市役所に代わる仮庁舎となったが、『ecowin』による快適環境は、市職員や利用者の方々からも好評をいただいたという。

また、当社は経済産業省の平成二十八年度商業・サービス競争力強化連携支援事業の補助事業者として認定を受けたが、これを活用し、業務用ビルマルチエアコンへのシステム化に向けた新たな技術開発に力を入れていく。

今後引き続き環境性の向上と省エネに取り組むとともに、未来に向けて力強く歩み続けることで、震災で被害を受けた人々に勇気を与え、地元熊本の創造的な復興に貢献していきたい」と語った。



仮市庁舎として稼働中の宇土市民体育館。奥の壁の黒く見えるのが「ecowin」